

ナローマルチビーム水路測量講習会案内

最近の深浅測量及び水路測量はシングルビーム音響測深機を使用する場合よりもナローマルチビーム音響測深機（以下「マルチビーム」という。）を利用する割合が増加しています。

特に、国土交通省が進めている「i-Construction」においては、マルチビームの使用が必須条件となっています。

当協会では、水路測量技術研修（1級及び2級がある）のなかで、マルチビームに関する講義を取り入れておりますが、「マルチビームだけに特化した講習会をしてほしい。」との要望を受け、今回の講習会を計画しました。

1 受講資格

特にありません

2 講習期間

令和元年11月12日（火）1300～15日（金）1700頃

3 講習会場

座学及びデータ演習：一般財団法人日本水路協会 研修室
なお、船上及び海上実習は東京港東京海域において行う。

4 講習内容

別紙の日程表を参照

5 受講料

100,000円（税別）

6 申込期間

令和元年8月19日（月）～8月30日（金）（当日消印有効）

なお、申込期間中に受講者が20名になった場合は申込みを終了とします。

7 募集人員

受講者は先着20名までに限定します。

なお、受講申込みが10名に満たない場合は実施しないことがあります。

8 受講申込書の送付先

受講申込書（当該案内の最終ページ）に必要事項を記入し次の住所に送付するとともに、必ずE-mailにて送付した旨の連絡をして下さい。

（送付先）〒144-0041 東京都大田区羽田空港1-6-6 第一綜合ビル6F

一般財団法人日本水路協会 技術指導部 あて

E-mail：gijutsu@jha.jp ， 電話：03-5708-7076

9 受講料の納入について

令和元年9月末日までにE-mailにて、受講料の納入方法などについてご連絡致します。

10 受講料の返還について

受講辞退、その他の事由により受講料を返還する場合の返還額は次の表のとおりです。

受講料の返還額

受講辞退申し出の時期など	返 還 額
受講開始日の8日前まで	受講料の50%
受講開始日の前日から7日前まで	受講料の30%
受講開始日以降(無届の欠席を含む)	返還しない
協会の都合により研修及び講習会を中止とした場合	受講料の全額
その他、協会が返還が妥当と認めた場合	協会が妥当と認めた額

注：受講料の返還に係る口座振込み手数料等は、受講者の負担とする。

ただし、協会の都合により研修及び講習会を中止した場合は協会の負担とする。

講 習 会 場



ナローマルチビーム水路測量講習会日程

講習期間：2019年11月12日（火）午後～11月15日（金） 4日間

講習時間：午前09時40分～12時00分、午後13時00分～17時00分

講習会場：第一総合ビル6階 日本水路協会研修室他

日次	月 日	曜日	グループ	時 間	内 容		講 師
1	11月12日	火	全員	1315～1700	ナローマルチビーム音響測深機の概要 船上及び海上実習の内容説明	座 学	水路測量技術者 (技術担当者)
2	11月13日	水	A	1日 0940～1700	ナローマルチビーム音響測深機 艀装、機器の取扱い、船上及び海上実習	船上実習 海上実習	水路測量技術者 (技術担当者)
			B	1日 0940～1700	ナローマルチビーム音響測深データ の解析（パソコンを使用）	室内演習	水路測量技術者 (解析担当者)
3	11月14日	木	B	1日 0940～1700	ナローマルチビーム音響測深機 艀装、機器の取扱い、船上及び海上実習	船上実習 海上実習	水路測量技術者 (技術担当者)
			A	1日 0940～1700	ナローマルチビーム音響測深データ の解析（パソコンを使用）	室内演習	水路測量技術者 (解析担当者)
4	11月15日	金	全員	0940～1200	潮汐の概要、観測、潮汐記録の整理	座 学	水路測量技術者 (技術担当者)
				1300～1500	測深と基準面、測量資料の作成、 デジタル測量成果	座 学	水路測量技術者 (技術担当者)
				1515～1615	(仮称) 港湾分野におけるCIM活用の動向と展望	座 学	(講師調整中)

※ 2日目及び3日目の船上・海上実習及び室内演習は最大10名にて実施する。

ナローマルチビーム水路測量講習会受講申込書

令和元年8月

※ 受講番号

フリガナ 氏名		性別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
		(西暦)	
		年	月 日生
フリガナ 勤務先 または 連絡先	名称	Eメールアドレス(連絡に使用します)	
	〒	電話	
	所在地		
1 ナローマルチビーム測深機の使用経験の有無			
有の場合	使用機器名 (例) Sonic2022、EM2040C、SEABAT8125など		
	水路測量の内容 (例) ○○港補正測量、○○湾深浅測量、○○湾(港)○○調査など		
2 当該講習会への申込理由			
3 水路測量関連の保有資格			
(例) ○○級水路測量技術検定試験、港湾海洋調査士(○○部門)など			

※ 記入不要